

令和3年 3月 9日

千代田区立九段小学校

校 長 清水 明

図画工作科 大高 美和



展覧会を終えて

展覧会が幕を閉じました。この展覧会にむけて子供たちは展示や共同作品制作を通して会場づくりを行いました。2週間をかけて、校内の各所で共同制作をしながら、空間に働きかけることや、友達と協力することを学びました。いつのも学校の様子が変化していくことで、子供たちはわくわくした気持ちで展覧会を味わえたのではないかと思います。

さて、本年度もあと少しで幕を閉じます。保護者の皆様にはコロナ禍の中、ご協力いただきまして本当にありがとうございます。展覧会の年でもあり、なかなか子供たちの作品をご家庭にお返しできなかったことは、誠に申し訳なく思っております。また、3年生・5年生では、木工作の分野を十分に取り組むことができませんでした。図画工作科は学習指導要領において3・4学年、5・6学年の2学年のまとまりで題材を計画することになっておりますので、不十分だった学習は次年度に工夫して取り組んでいく所存です。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

1【1月の図工】

3年生 「リコーダーを拭いたら」

リコーダーを吹く自分の姿を写真にとって描きました。写真を観察することで、普段意識していない指や腕の動き顔の表情をよく見て描きます。また、肌の色は自分の手の甲を見ながら、混色して表しました。

この後3年生は、鋸の指導を行い木切れの材料づくりをします。その材料を用いて4年生の工作に臨みます。



4年生 「コマドリアニメ」「不思議な種からぐんぐんのびて」(共同作品)

身の回りの文房具を動かしてアニメーションを作りました。ステープラーが机の上を動き回ってお仕事をしたり、毛糸が自由に動き出したりするなど、様々なアイデアが生まれました。共同作品は、階段で活動しました。「ジャックと豆の木」のように、不思議な種から壁中に植物を表していきます。途中でつなげたり絡めたりしながら、色とりどりの空間を作りました。



5年生「なりきり！作品調査団！」「つながる・ひろがる omotenashi」



鑑賞「なりきり！作品調査団！」では、「題名」「主題」「材料」「作品の世界」について班の中で分担して説明しました。全員が学芸員さんの前で発表することで、緊張と共に達成感もあったと思います。学芸員さんの解説に興味深く耳を傾ける姿が印象的でした。

共同作品は廊下をポリテープで飾ります。引っかけられる場所を見付けたり、色合いを考えてポリテープの色を選んだり、また、華やかなリボンやみつあみを作るなど、協力して工夫する姿が見られました。

6年生「紙・かみ・ワンダーランド」

白い紙テープを折ったりつなげたりして、図工室をすてきな空間に変身させました。白は、古来より神事にまつわる神聖な色です。この活動は白い紙だけでできる不思議な面白さを、体験する活動でもあります。子供たちは、観覧の動線や見え方を考えながら、学年全員で協力して展示しました。その場で思いつきながら活動するのですが、互いに声を掛け合ったり協力したりする姿が見られました。



2 来年度に向けて

さて、次年度の準備として次のことを子供たちに伝えております。お子さんと一緒にご確認ください。

- ① 絵具セットの筆ふき布の交換。
- ② 足りない絵具の買い足し。
- ③ 敷物として新聞紙・レジャーシート・45Lのビニール袋のいずれかを用意する。
- ④ 「買い物バッグ」を図工用に準備する。